

ユーザーレポート ～0の証明～

USER REPORT

厳しいアルコール測定を100%行うことが本来あるべき姿

信州名鉄運送株式会社

信州名鉄運送株式会社

信州名鉄運送株式会社は長野県に拠点を置く名鉄グループの会社で、諏訪の本社を含め七つの営業所があり、従業員数622名、保有車両台数127台の運送会社である。あらゆる業種にまたがるグループのネットワークを活かし、輸送だけでなく受注、管理、配送までトータルに顧客の要望に応える事業展開をしている。

今回はその営業所の一つ、長野県佐久市長土呂にある佐久営業所。同営業所は将来の中核基地として2010年3月に上信越道佐久ICから車で一分の現在の場所に移転、花・野菜などの青果輸送と流通加工をはじめ、チャーターダイレクト輸送や引越しなど総合物流を行っている。



しっかりとした管理が 乗務員の安全と健康に好影響

佐久営業所には現在22名の乗務員が勤務しており、点呼時においてALC-PRO IIでのアルコール測定を行っている。それ以前はハンディタイプのアルコール検知器を使用していた、測定結果のバラツキが問題になっていたという。

「特に普段の喫煙量の多い乗務員が測定にひっかかることが多くありましたし、他にもアルコール以外の色々な要因で数値が出てしまうので、きちんとした管理が難しい状態でした。」

と話すのは管理者でもある同営業所の中澤所長。

毎日行わなければならない点呼業務において、実際にはアルコールが残っていないにもかかわらず数値が出てしまうことで、その都度うがいをし



たり時間をあけて測定をし直す必要があり、乗務員にとっても管理者にとっても無駄な労力になっていた。

そうした点呼時のアルコール測定方法を改善することを検討している中で、東海電子のALC-PRO IIを知り、社長が即決したという。

「運行前と運行後の点呼は全てアルコールチェックを行うことからということになっています。ALC-PRO IIはアルコール成分にしか反応しませんので乗務員側も管理する側も自分を律して厳しくするようになりました。」(中澤所長)

精度が高く、測定時の記録も自動で残る機器が導入され、乗務員たちの反応もはじめは戸惑いがあったようだが、次第に自分で飲酒の量を控えるなど自己管理が自然とできるようになったという。またそれによって健康面への良い影響も感じている乗務員も多いようだ。

「正確な測定が行え、パソコンにも記録が残りますので、100%漏れなくアルコールチェックを行うという本来あるべき姿になったと思います。その意味でもALC-PRO IIを導入することによっての効果はとても大きなものがありました。」という中澤所長。

同社の企業理念にある迅速・正確・丁寧を具現化し、今後も顧客の満足を超えるサービスを提供し信頼関係を確立する努力を続けていくという。

ご利用機器

パソコン連動記録型測定器
ALC-PRO II

取材ご協力

信州名鉄運送株式会社

取締役
佐久営業所所長 **中澤 治之 様**

〒385-0021
長野県佐久市長土呂800-45
TEL 0267-67-2161(代)
FAX 0267-67-4438
URL <http://www.sinmeiunsou.co.jp/>

